

茨城県下水道事業経営計画（第1期 H23～27年度） <概要>

I 経営方針

- 1 安心で快適な生活環境づくりをめざします
未普及地域の解消，生活環境改善及び公共用水域の水質保全の役割を着実に果たす
- 2 安全で計画的な施設の構築と運営をめざします
老朽化した施設の計画的な再構築及び施設の耐震化を進める
- 3 安定した経営基盤の確立をめざします
企業会計を導入し，財政運営と経営の効率化をめざす

II 下水道事業の現状及び見通し

- H24年度末 下水道普及率 本県 58.4%（全国32位 全国平均 76.3%）
○本県下水道普及率目標 平成27年度 64.2% 平成37年度 83.1%

III 主要施策と主な取り組み

- 1 安心快適な生活環境づくり
 - (1) 下水道の普及及び接続促進
 - ・市町村下水道整備補助による普及促進，接続支援及び未接続家庭訪問等による接続率向上
 - (2) 湖沼等の水質改善
 - ・公共下水道整備の促進及び接続率向上，啓発活動，合流改善施設の導入
 - (3) 広報啓発活動の充実
 - ・下水道コンクール，キャンペーン，アクア施設体験ツアー，未接続家庭訪問，出前講座
- 2 安全で計画的な施設運営と構築
 - (1) 長寿命化対策の推進
 - ・処理場，ポンプ場，管渠の長寿命化計画策定，施設更新・長寿命化対策工事推進
 - (2) 震災対策と危機管理対応の強化
 - ・各流域下水道の耐震対策計画策定，施設の耐震化推進，震災対応マニュアル策定
 - (3) 新技術の開発・導入
 - ・リン除去回収実証実験及び実施設の導入検討，下水資源活用の導入可能性検討
- 3 安定した経営基盤の確立
 - (1) 維持管理の充実
 - ・維持管理の充実，省エネ型機器の導入，効率的な設備運転
 - (2) 財政運営と経営の効率化
 - ・接続率向上による収入確保，起債額・支払利子の縮減，職員の技術の習得と承継
 - (3) 地球温暖化対策
 - ・省エネルギー型機器の導入，風力発電設備導入，太陽光発電設備導入

IV 流域・事業別計画

<本県下水道事業全体の施設整備方針>

処理水量の増加に対応した施設の増設，計画的な施設の改築更新及び長寿命化対策工事の推進，施設の耐震化，高度処理施設の導入等

V 財政収支計画

流域下水道，鹿島特定公共下水道とも収益は処理水量の増加に伴い緩やかに増加し，建設費は減少が見込まれる

VI 目標達成のための取り組み

進行管理体制の構築，経営懇談会の設置，市町村等との連携